愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	英語III		
担当者(Instructors)	西崎 有多子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業は英語への興味関心、モチベーションと英語能力向上を総合的に目指す。言語としての英語、英語の背景知識、英語の時間的・空間的広がり、英語学習の基礎知識、実際の使い方等を知識として学び、それぞれを実際の英語として体験的に学ぶ。平行して英語の児童文学を読み進む。「英語基礎I」「英語基礎II」「英語I」「英語II」等を終了してからの受講が望ましい。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テーマごとにグループ活動を併用し、ディスカッションを通して理解を深める。英語の実例は協同学習を取り入れて、主体的に解決していける英語力を養う。英語で紹介や説明ができるような練習を合わせて行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業の進め方 英語の歴史と成り立ち	国際語となった英語の歴史と言語学的な位置を理解する。	□
第2回	アメリカ英語とイギリス英語、世界の中の英語 Library Lion (1)	アメリカ英語とイギリス英語の違いを語彙・発音・文法面で比較する。World Englishesとは何か。 語彙・語法を確認しながら、Library Lion を読む。	□
第3回	日本語と英語 Library Lion (2)	日本における英語学習の始まりと外国語の受容の歴史を理解する。 語彙・語法を確認しながら、Library Lion を読む。	□
第4回	辞書の種類と活用法 Library Lion (3)	英語学習における辞書の種類と特徴、活用法を理解する。 英英辞典に慣れ親しむ。 語彙・語法を確認しながら、Library Lion を読む。	□
第5回	英文の読み進め方の基本 Library Lion (4)	リーディングスキルを身に付ける。 語彙・語法を確認しながら、Library Lion を読む。	□
第6回	発音と発音記号、発音と綴り Library Lion (5)	英語の発音と発音記号、発音と綴りの関係に関する知識を身に付ける。語彙・語法を確認しながら、Library Lion を読む。	□
第7回	英語圏の国々 Panda Bear, Panda Bear, What do you see? (1)	英語が使われている国々の特徴を知り、理解を深める。Panda Bear, Panda Bear, What do you see? を読む。	□
第8回	英語圏の食生活・年中行事 Panda Bear, Panda Bear, What do you see? (2)	英語圏の食生活や年中行事について特徴を知り、理解を深める。Panda Bear, Panda Bear, What do you see? を読む。	□
第9回	英語圏の教育・スポーツ Bark George (1)	英語圏の教育やスポーツについて特徴を知り、理解を深める。Bark George を読む。	□
第10回	英語の背景文化　聖書・ギリシャ神話・シェイクスピア Bark George (2)	英語圏では常識的な歴史的背景を知り、理解を深める。 Bark George を読む。	□
第11回	英語のことばあそび　詩・マザーグース・なぞなぞ The Cat in the Hat (1)	英語圏の子どもたちのためのことばあそびを知り、理解を深める。The Cat in the Hat を読む。	□
第12回	英語の迷信・ことわざ The Cat in the Hat (2)	英語の迷信・ことわざを知り、背景文化について理解を深める。The Cat in the Hat を参考に発展的な活動を行なう。	□
第13回	ことばと文化、異文化理解と英語 読み聞かせの練習と準備	ことばと文化の結びつき、英語を通して異文化理解について理解を深める。読み聞かせの練習を行なう。	□
第14回	英語で読み聞かせ	英語での読み聞かせ発表を行なう。録画を観て改善点を話し合う。	□

第15回	まとめ	まとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前に各自で30分程度、予習として次回で扱う教科書の内容を読み、わからない英単語や内容について調べ、疑問点を明らかにしておく。授業後に各自で30運程度、授業内容を振り返り、疑問点がないか確認する。授業で学んだ教材の活用方法を考え、次の授業で発表等ができる準備をする。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

英語絵本や小テストについて、予習を行い、授業後はテストの返却後、解答を確認して間違っていた部分について、正解を記入して提出する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

英語知識、語彙や表現に関する授業内小テスト　70%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	酒井志延ほか『英語の世界ハンドブック』大修館書店	978446924655
2	Knudsen, Michele『Library Lion』Scholatic	978-0-545-15342-3
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	高校レベル以上の英和辞典（電子辞書でも可）	
2		
3		
4		
5		